

事業概要【関係人口（二地域居住者）拡大推進事業】

自治体名	石川県	人口	1,097,539人	事業費	19,821千円
事業概要	能登半島地震により人口減少のさらなる加速が懸念される能登において、地域の活力を維持向上させていくには、定住人口や交流人口の拡大に加え、関係人口の拡大が課題となっている。能登を訪れるボランティアの方や地元から離れざるを得なくなった被災者を含め、地域外の方へ地域と関わる情報を発信し、地域を訪れる機会を創出することで関係人口の拡大を図る。				
具体サービス	【関係人口ポータルサイト「いしかわのWa!」】 （登録機能） - 石川県の地域との関りに関心のある方が登録 例）ボランティア、やむを得ず転居した被災者、出身者、都市人材等 （情報発信機能） - 登録者に地域と関わる情報を発信 例）イベント（祭り参加・準備等） お手伝い（農作業、地域資源活用、ゲストハウス運営補助等） （参加申し込み機能） - イベント等はシステム上から申し込みを行い、登録者毎の参加実績を記録 →参加実績に応じたポイントの付与		 地域外の方が地域と関わり、関係性を深めることで、関係人口の拡大を図る		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①ユーザーの登録者累計数 ②イベント等の参加人数の累計		【アウトカム指標（成果指標）】 ①関係人口登録・情報発信サービスの満足度 ②イベント等の実行率		

サービス名	関係人口登録・情報発信サービス	事業費	19,821千円
ターゲット	石川県に関心のある方、能登半島地震におけるやむを得ない二地域居住者・ボランティア 等		
サービス内容			

◆ サービス概要

①石川県との関わりに関心のある方は「いしかわのWa！」に登録

想定される登録項目：名前、住所、生年月日、性別、県内の関心のある市町、どのような関りを希望しているか 等

②市町や地域団体等は、地域との関わりに関する情報（イベント、お手伝い等）を登録者に発信

③登録者は参加したいイベント等にシステムを通じて

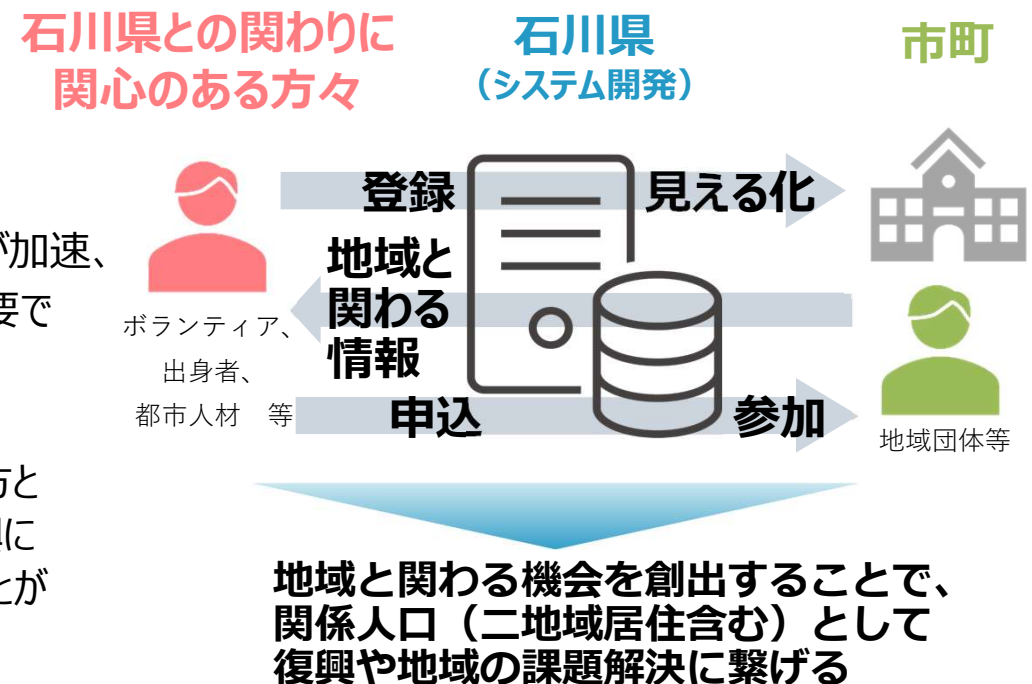
申込をしたうえで、地域を訪れ参加する

④参加実績に応じてポイントを付与

◆ 本県特有の事情への対応

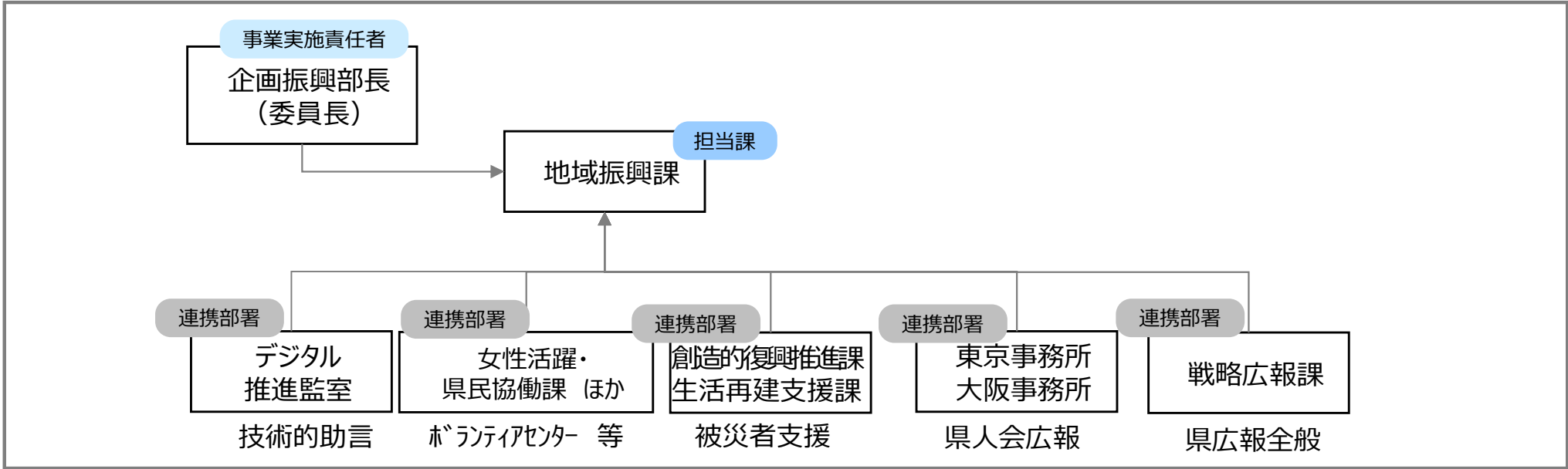
能登半島地震の影響で特に能登地方では人口減少が加速、地域活動の再開や維持向上に向けて多くの人材が必要であり、関係人口（二地域居住者含む）の拡大により解決を図ろうとしている。

本サービスの導入により、石川県と関わりに関心のある方と人材を求める地域のニーズを繋ぐことが可能となり、復興に向けた取組をはじめ、様々な地域課題の解決が進むことが期待される。



☑ 上記サービスの実装にあたり、国による他の補助金等の対象となる可能性のある事業は、当該補助金等を利用することについて確認した

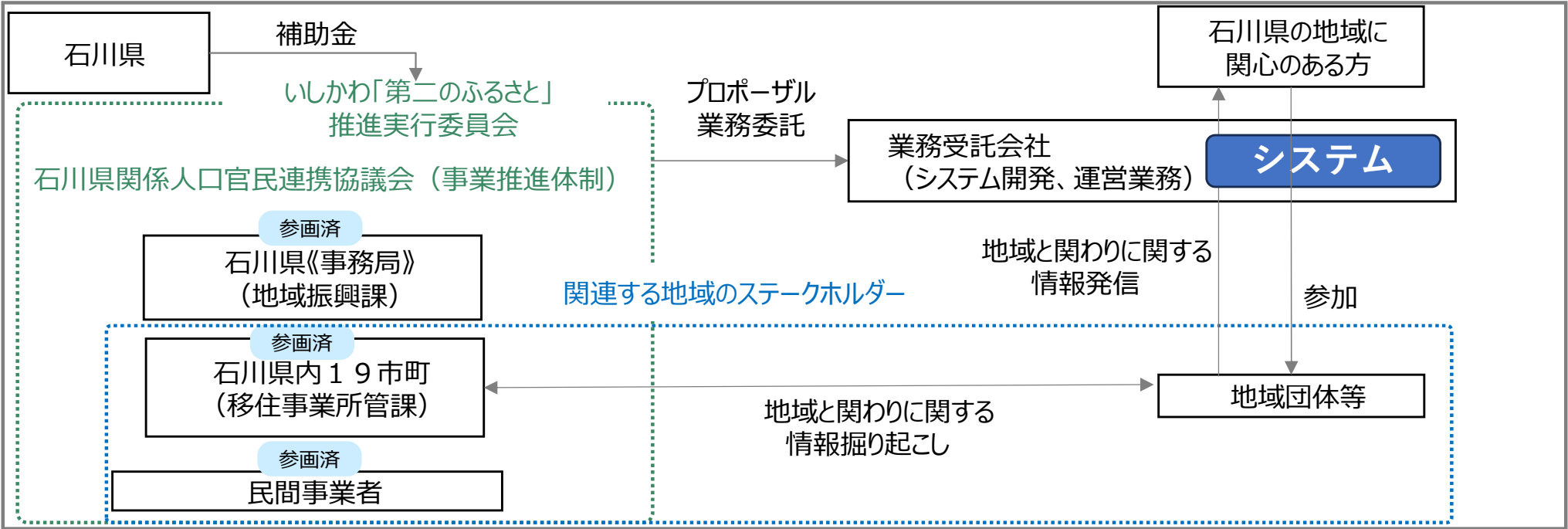
■ 庁内の推進体制



【各課室の役割】

名称	名称	役割
事業実施責任者	企画振興部長	・ 事業全体のマネジメント・進捗管理
事業担当課	地域振興課	・ 事務局（システムの調達、関連部署との調整、業務フローの検討）
連携部署	デジタル推進監室	・ デジタル技術の活用に関する技術的助言
連携部署	女性活躍・県民協働課 ほか	・ ボランティアセンターを所管し、ボランティアへ広報において連携 ・ その他、県で実施しているプログラム担当課との連携
連携部署	創造的復興推進課 生活再建支援課	・ やむを得ない二地域居住者等への支援及び広報における連携
連携部署	東京事務所 大阪事務所	・ 県人会への広報における連携
連携部署	戦略広報課	・ 県の広報機能の活用において連携

■ 事業推進体制



名称	役割
いしかわ「第二のふるさと」推進実行委員会 ※サービス提供者	- 事業推進体 「石川県関係人口マッチングプラットフォーム（仮称）」業務委託（プロポーザル実施）
石川県関係人口官民連携協議会	「石川県関係人口マッチングプラットフォーム（仮称）」の機能や内容等の検討 - その他関係人口施策の検討
石川県	- 事業計画の立案 - 報告書作成をはじめとする事業全般の管理・統括 - 事業推進体の事務局
石川県内19市町	- 事業推進体の構成メンバー - 仲介役と連携して、地域と関わりに関する情報の掘り起こし、発信し、参加希望者の受入を調整する
民間事業者	事業推進体の構成メンバー、事業への助言

名称	役割
業務受託会社	「石川県関係人口マッチングプラットフォーム（仮称）」業務受託（システム開発及び運営業務）
石川県の地域に関心のある方	地域の困りごとや活動に参加し、関わりを通じて地域を応援する【サポーター】
地域団体等	地域での活動や課題をプログラムとして発信し、サポーターを募集するとともに、地域外人材を受け入れるための環境整備等を行う役割を担う【オーナー】

■ サービスを地域に普及・定着させるための工夫

周知方法

全般：県公報（HP、SNS等）、市町広報（HP、SNS等）

ボランティア：ボランティアセンターでのチラシ配布、ボランティア募集HPでの紹介

地元から離れざるを得なくなった被災者：定期郵送便によるチラシ配布

出身者：県人会、出身者団体を通じたチラシ配布

都市人材：既存の移住イベントや相談所でのチラシ配布、移住HPでの紹介

普及・定着させるための工夫

地域との関わりに関する情報発信を充実し、地域外の方が地域を訪れ関わりを持つ機会を増やす。

このため、市町と連携し、地域外の方との関わりづくりに取り組む地域団体の掘り起こしや市町・地域団体による情報発信を促すほか、地域での受入に向けた人材育成を支援する。

■ サービスの質やユーザー満足度の向上・改善の手法

下記の項目を分析することで、ユーザーニーズを把握し、イベント等への参加件数・参加率の向上を図る

- ・ユーザー登録における「興味・関心」に関する項目を設定

- ・参加イベント等の実績

- ・ユーザー向けアンケート調査（プログラム実施後、都度）

- ・市町、地域団体等を対象としたヒアリング調査（少なくとも年1回3月頃に実施）

取り纏めた分析結果については、石川県関係人口官民連携協議会において共有し、具体的な取組みを検討していく

■ 運営計画（KPI達成のための中長期スケジュール）

